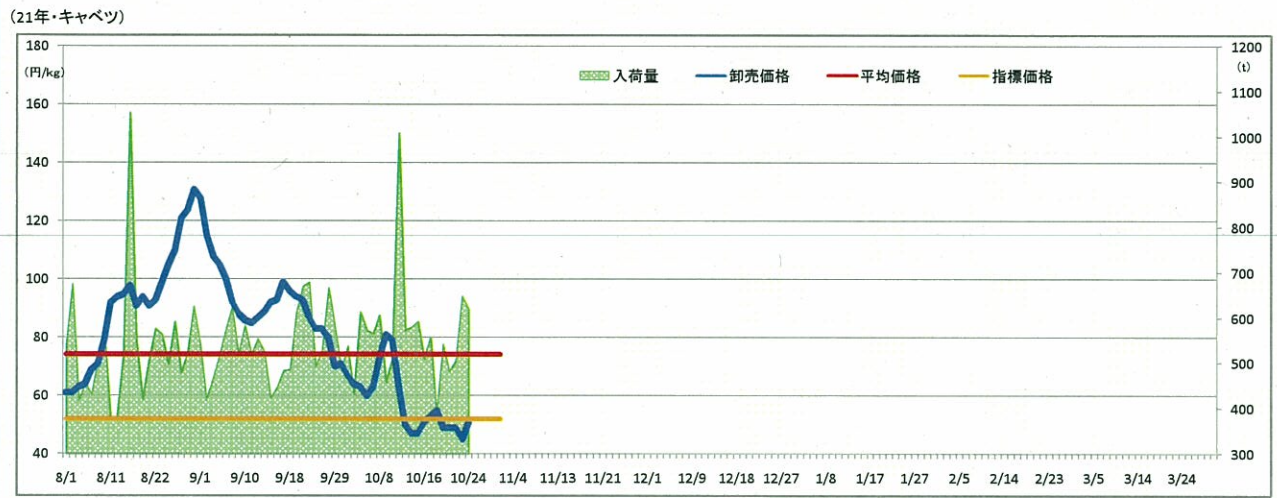
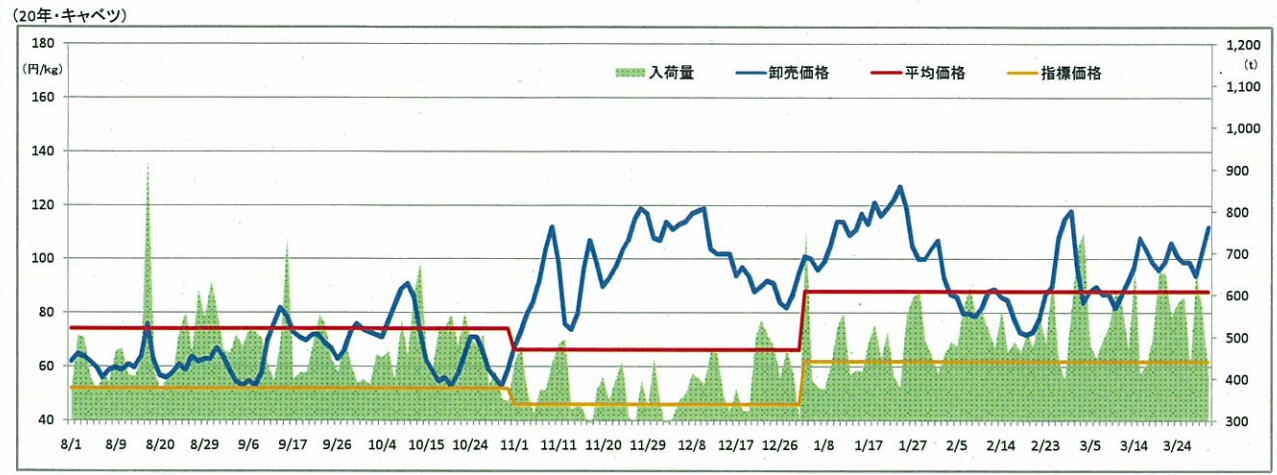
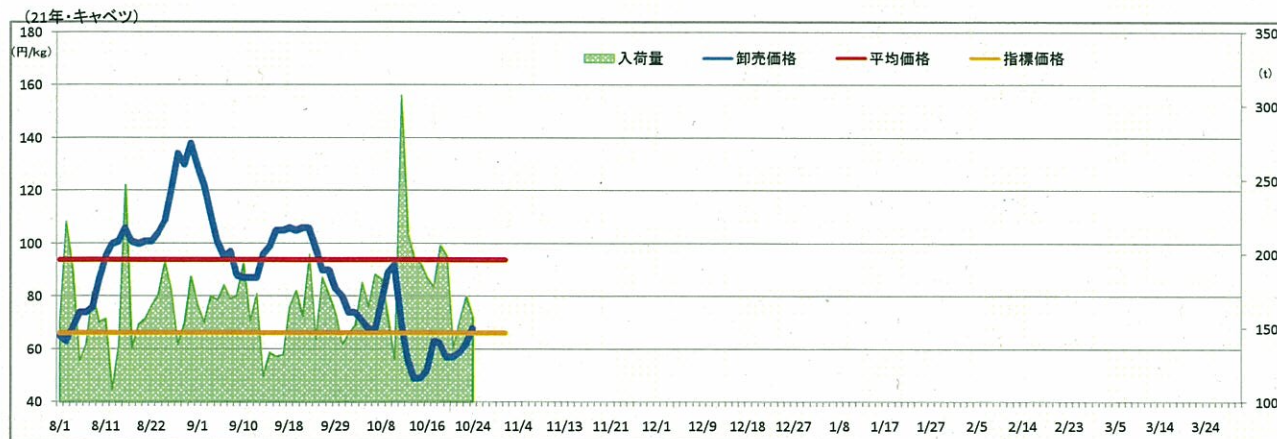
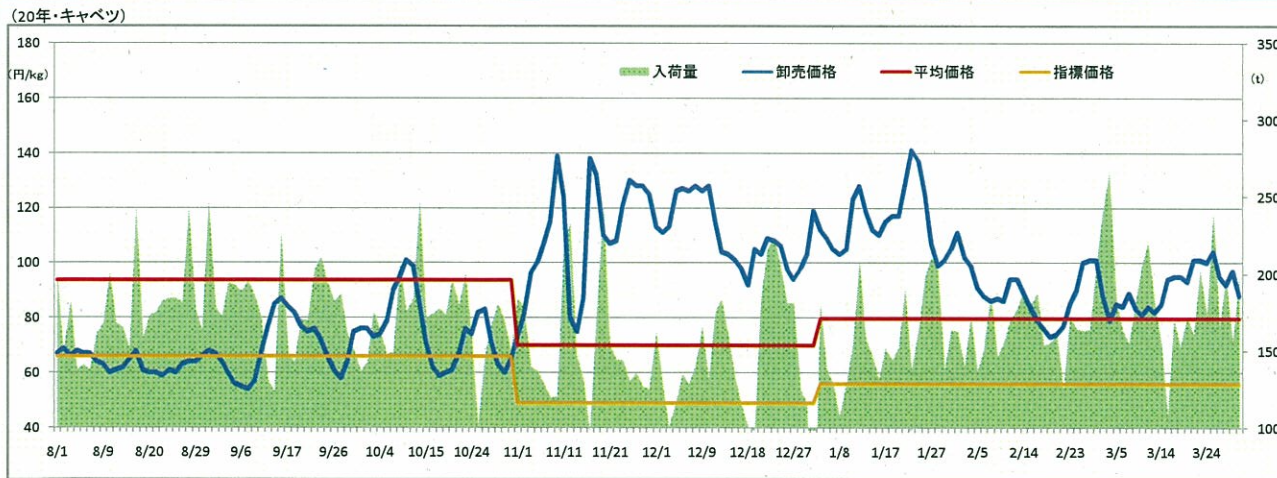

冬キャベツ(11月～3月)の需給・価格見通し

1. これまでの入荷量と価格の推移

① 東京都中央卸売市場



② 大阪市中心卸売市場



2. 生産出荷状況をめぐる状況

(1) 供給計画

平成 21 年の冬キャベツの供給計画によると、全農が 6 月に策定した当初計画では、作付面積は対前年 101% (系統共販分)、10アール当たりの収量を前年並としたことにより、収穫量は 107%、出荷量は 109%としたところである。(※確定計画は 10 月末日に確定。)

○当初計画 (21 年 6 月時点)

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
5,637	5,568	101	4,664	4,394	106	262,890	224,655	107	228,881	209,513	109

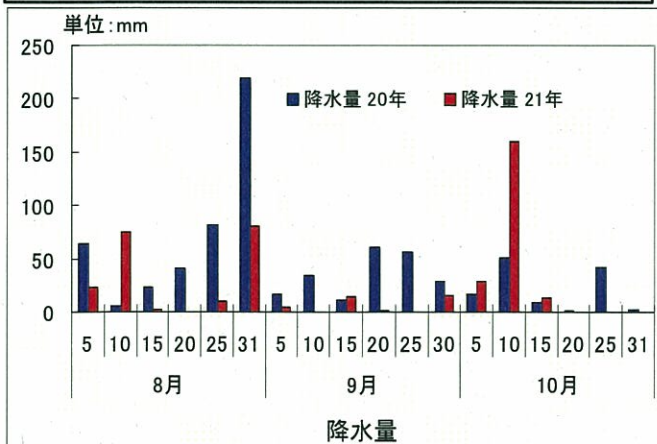
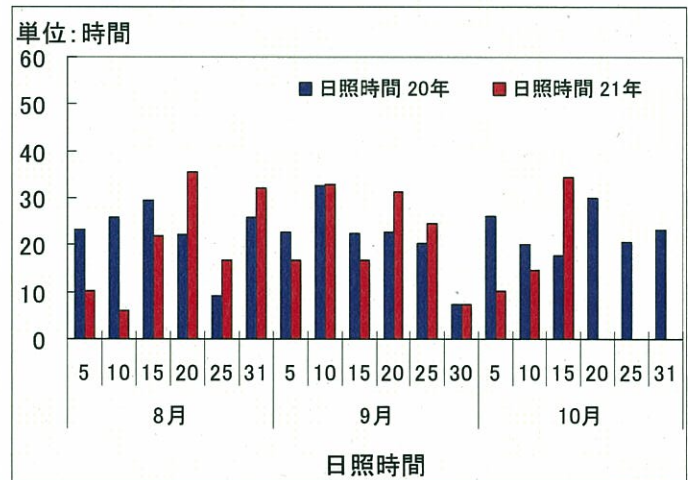
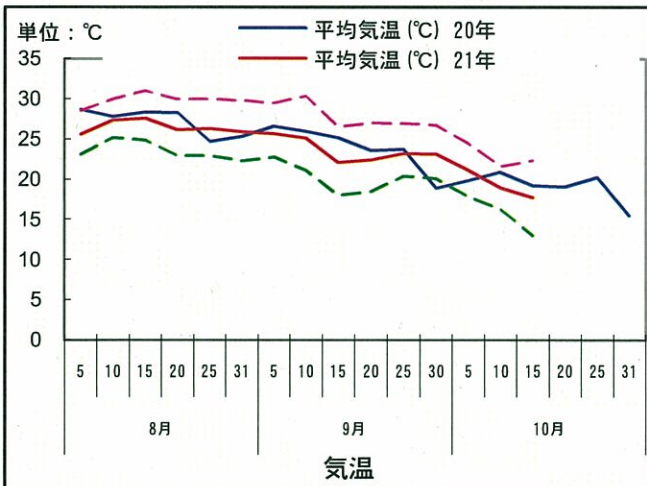
(2) 生産 (生育)・出荷状況

資料 3-7 のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移 (愛知県 豊橋)

気温は、8 月、9 月と前年を下回る推移。日照時間は前年に比べて 8 月から 10 月中旬にかけて、107%。降水量は前年に比べて全体的に少なく 8 月から 10 月中旬にかけての積算では 50%であるが、10 月上旬には台風 18 号の通過に伴い、強い風・雨等の影響で被害が出ている。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、

原資料: 気象庁「AMeDAS」

②この先の気象状況

- ・銚子
 - ・三浦
 - ・豊橋
-

【この先1ヶ月の気象状況】

期間:10月24日(土)~11月20日(金)

地点:銚子

作成日:2009年10月23日

本年(11月~1月)の気象傾向

11月は数日の周期で天気が変わりますが、北日本の日本海側では、平年に比べ雨や雪の日が少ない見込みです。12月に入ると例年同様、太平洋側では晴れの日が多くなるでしょう。北・東日本の日本海側では、曇りや雪または雨の日が多い見込みです。西日本の日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

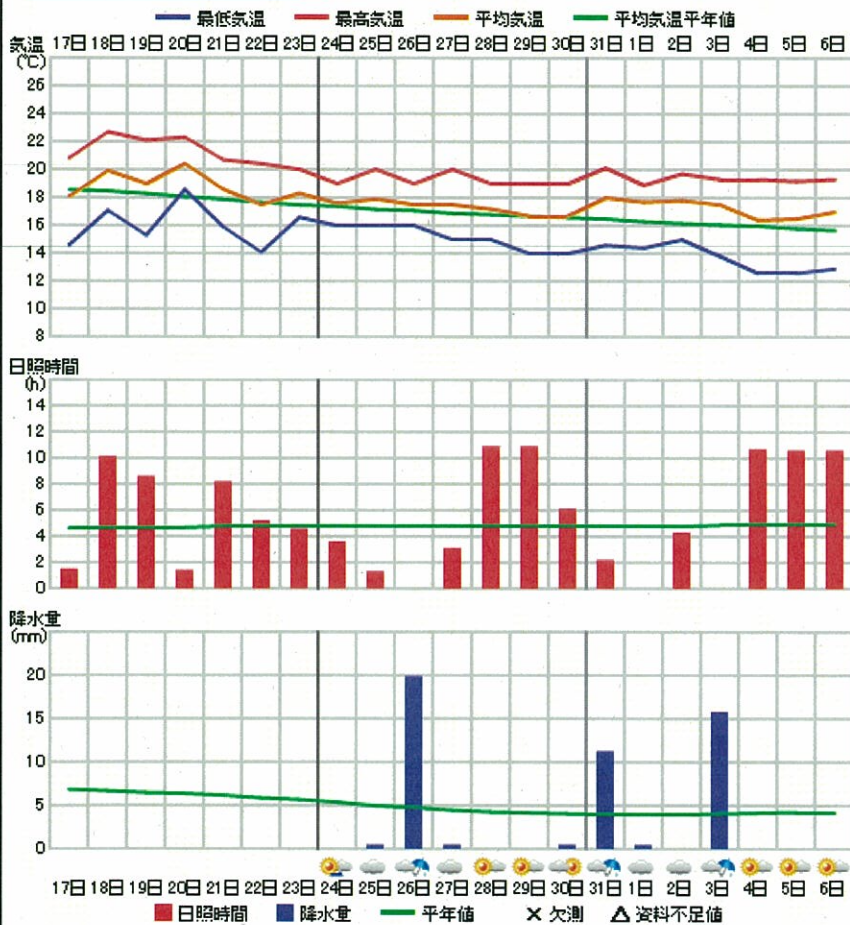
1月は冬型気圧配置が続かず、北・東日本の日本海側では平年に比べ雪や雨の日が少ないでしょう。西日本の日本海側と北・東・西日本太平洋側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

直近1ヶ月の経過

○高気圧に覆われ晴れた日が多く、この一週間の雨量は0ミリ。直近一ヶ月をみても48%と、雨が少ない状態となっている。

○その分、日照時間は平年を上回り、直近一ヶ月では平年比120%となった。冷たい北東風の影響で気温が平年を下回っていたが、ここ一週間は高い日があって、直近一ヶ月では平年のマイナス0.1℃と平年差が小さくなった。

直近2週の詳細予報



※ 2週目の日別予報は、週の天気傾向から算出した予測値の1つであり、1週目の日別予報に比べて、前後のずれやブレが大きくなっています。週の傾向として幅を持ってとらえてご利用ください。

この先2週間の見通し

○前線が停滞する影響で、25日から27日にかけては雲が多く、26日はまとまった雨が予想されます。2週目雨の降る日があるでしょう。ただし、降水量は平年をやや下回りそうです。

○天気は周期的に変わる見込み。

○日照時間は概ね平年並で、気温は平年より高めに推移する見込みです。

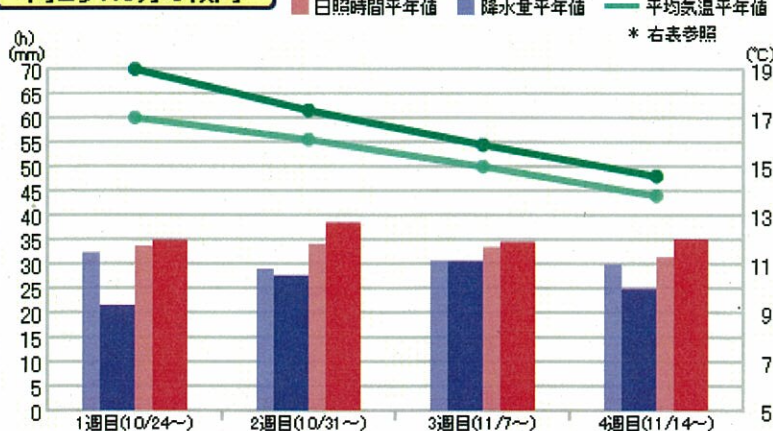
この先1ヶ月の見通し

○この先も周期的に天気に変化し、晴れと雨、メリハリのある天気になりそうです。

○降水量は平年よりやや少なめ、日照時間はやや多めとなるでしょう。

○3、4週目も気温は平年よりも高めとなりそうです。

向こう1カ月の傾向



	予報	平年
1週目	21.4mm (66.3%)	32.3mm
	34.8時間 (103.6%)	33.6時間
	19.0℃ (+2.0℃)	17.0℃
2週目	27.6mm (95.5%)	28.9mm
	38.4時間 (112.9%)	34.0時間
	17.3℃ (+1.2℃)	16.1℃
3週目	30.5mm (99.7%)	30.6mm
	34.5時間 (103.3%)	33.4時間
	15.9℃ (+0.9℃)	15.0℃
4週目	24.8mm (82.9%)	29.9mm
	35.0時間 (111.8%)	31.3時間
	14.6℃ (+0.8℃)	13.8℃

【この先1ヶ月の気象状況】

期間:10月24日(土)~11月20日(金)

地点:三浦

作成日:2009年10月23日

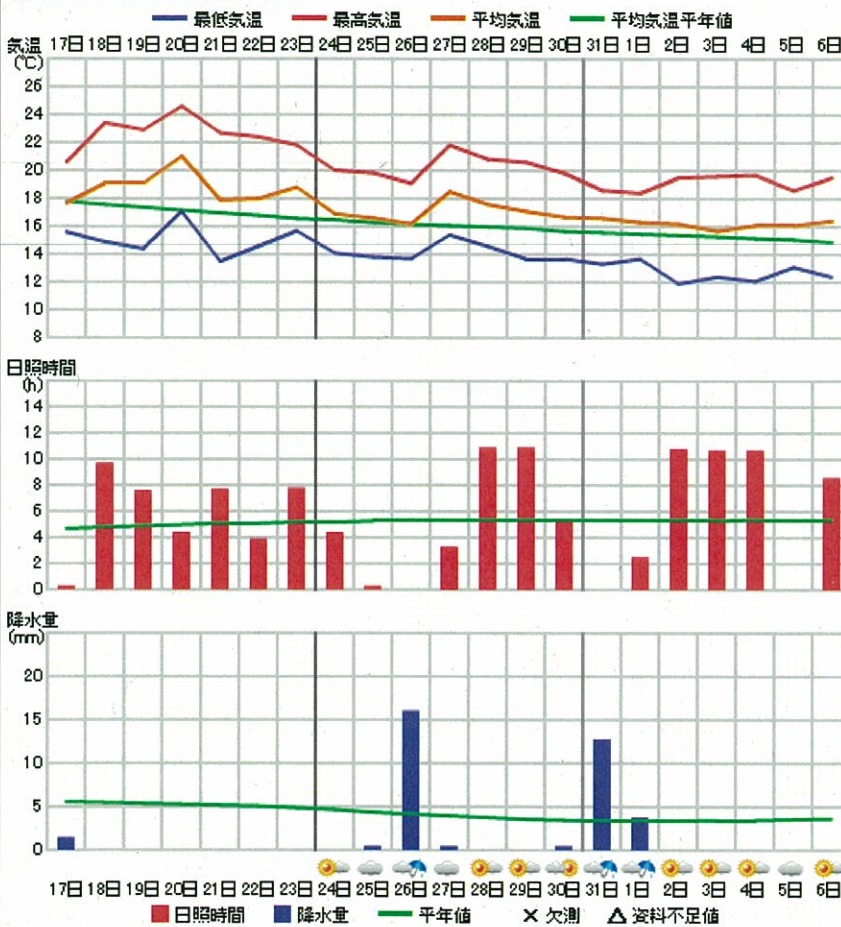
本年(11月~1月)の気象傾向

11月は数日の周期で天気が変わりますが、北日本の日本海側では、平年に比べ雨や雪の日が少ない見込みです。12月に入ると例年同様、太平洋側では晴れの日が多くなるでしょう。北・東日本の日本海側では、曇りや雪または雨の日が多い見込みです。西日本の日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。1月は冬型気圧配置が続かず、北・東日本の日本海側では平年に比べ雪や雨の日が少ないでしょう。西日本の日本海側と北・東・西日本太平洋側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

直近1ヶ月の経過

○10月17日には前線の影響で、1.5ミリの雨が降ったものの、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。降水量はこの一週間で1.5ミリのみ。それでも、台風や前線による雨で直近1カ月の平年比は126%となっている。
○晴れた分、日照時間は多く、平年の3割程度多い状況。気温は、先週まで平年を下回っていたが、この一週間くらいは高い日が多かったため、直近1カ月は平年より0.6℃上回った。

直近2週の詳細予報



※ 2週目の日別予報は、週の天気傾向から算出した予測値の1つであり、1週目の日別予報に比べて、前後のずれやブレが大きくなっています。週の傾向として幅を持ってとらえてご利用ください。

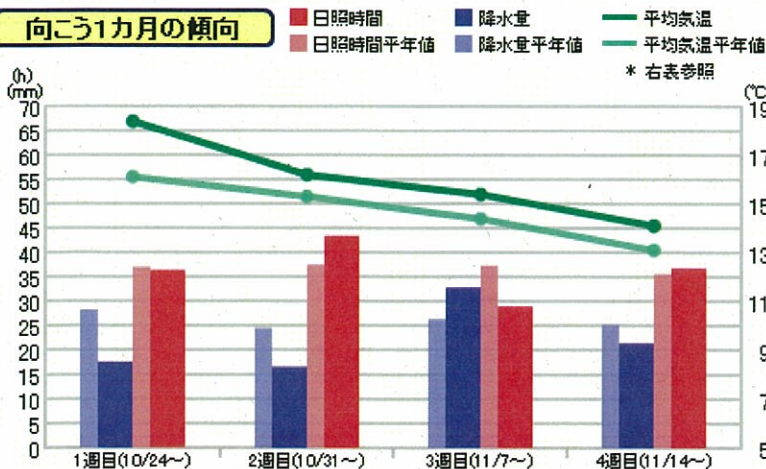
この先2週間の見通し

○前線の停滞や低気圧の通過にともない、25日から27日にかけて雲が多く、26日はまとまった雨が予想されます。
○降水量は平年より少なめ、日照時間は2週目で平年よりやや多くなりそうです。
○気温は高めに推移し、特に1週目は平年より2℃前後高い日がありそうです。

この先1ヶ月の見通し

○この先もメリハリのある天気となるでしょう。
○3週目は降水量がやや多く、日照時間が少なめとなり、4週目は降水量がやや少なく、日照時間は平年並となる見込みです。
○3、4週目ともに気温は平年より高めに推移するでしょう。

向こう1カ月の傾向



	予報	平年
1週目	17.6mm (62.4%)	28.2mm
	36.2時間 (97.8%)	37.0時間
	18.4℃ (+2.3℃)	16.1℃
2週目	16.6mm (67.8%)	24.5mm
	43.3時間 (115.8%)	37.4時間
3週目	32.8mm (124.7%)	26.3mm
	28.8時間 (77.4%)	37.2時間
	15.4℃ (+1.0℃)	14.4℃
4週目	21.3mm (84.5%)	25.2mm
	36.7時間 (103.4%)	35.5時間
	14.1℃ (+1.0℃)	13.1℃

【この先1ヶ月の気象状況】

期間:10月24日(土)~11月20日(金)

地点:豊橋

作成日:2009年10月23日

本年(11月~1月)の気象傾向

11月は数日の周期で天気が変わりますが、北日本の日本海側では、平年に比べ雨や雪の日が少ない見込みです。12月に入ると例年同様、太平洋側では晴れの日が多くなるでしょう。北・東日本の日本海側では、曇りや雪または雨の日が多い見込みです。西日本の日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

1月は冬型気圧配置が続かず、北・東日本の日本海側では平年に比べ雪や雨の日が少ないでしょう。西日本の日本海側と北・東・西日本太平洋側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

直近1ヶ月の経過

○17日には低気圧や前線の影響で、13.5ミリの雨を観測したものの、まとまった雨が降っておらず、この一週間は平年より大幅に少ない降水量となっている。ただし、9月下旬から10月上旬にかけて、台風や前線の影響でまとまった雨が降ったため、1カ月を通してみると、平年より多い。

○高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は平年よりやや多い状況。

○気温は平年よりやや高めに推移している。

直近2週の詳細予報

※2週目の日別予報は、週の天気傾向から算出した予測値の1つであり、1週目の日別予報に比べて、前後のずれやブレが大きくなっています。週の傾向として幅を持ってとらえてご利用ください。

この先2週間の見通し

○気圧の谷の通過ともない、25日から26日にかけては曇りが多い天気、26日はまとまった雨が予想されます。

○2週目前半も雨が降る見込みですが、それ以降は高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

○降水量は平年より少なく、日照時間は平年よりやや多い見込みです。

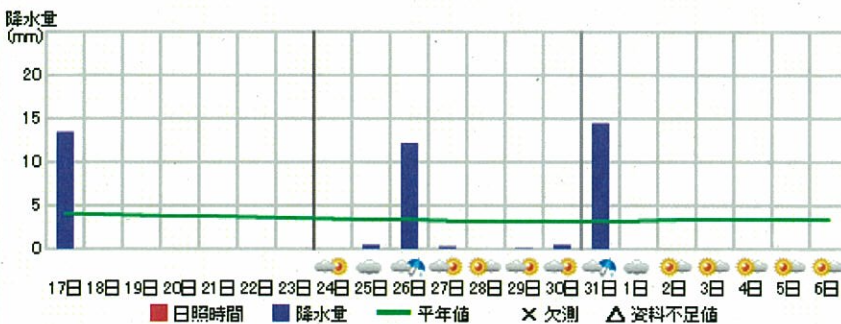
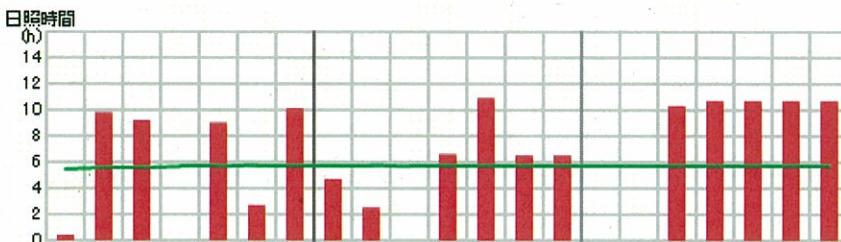
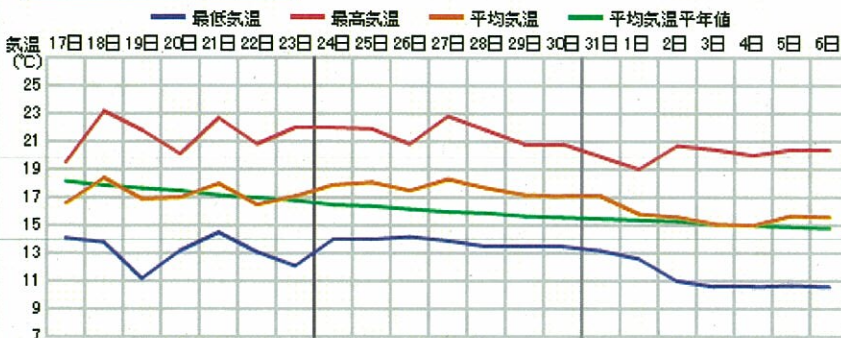
○気温は1週目ほど高めとなるでしょう。

この先1ヶ月の見通し

○この先も天気は周期的に変わります。

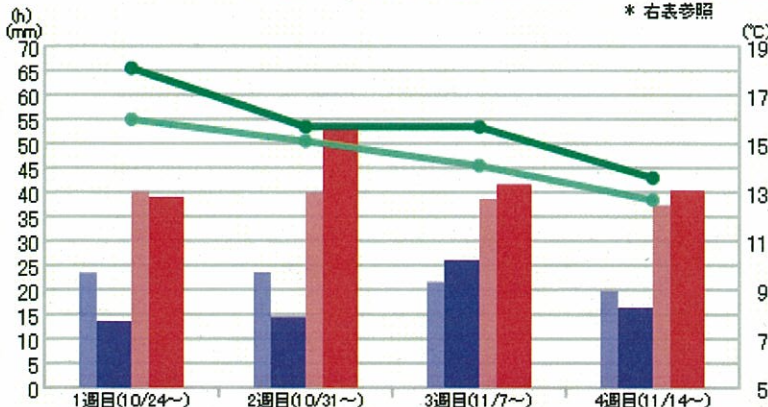
○3、4週目は降水量、日照時間ともに概ね平年並。

○気温は平年より高い状態が続く見込みです。



向こう1カ月の傾向

■ 日照時間 ■ 降水量 ■ 平均気温
 ■ 日照時間平年値 ■ 降水量平年値 ■ 平均気温平年値
 * 右表参照

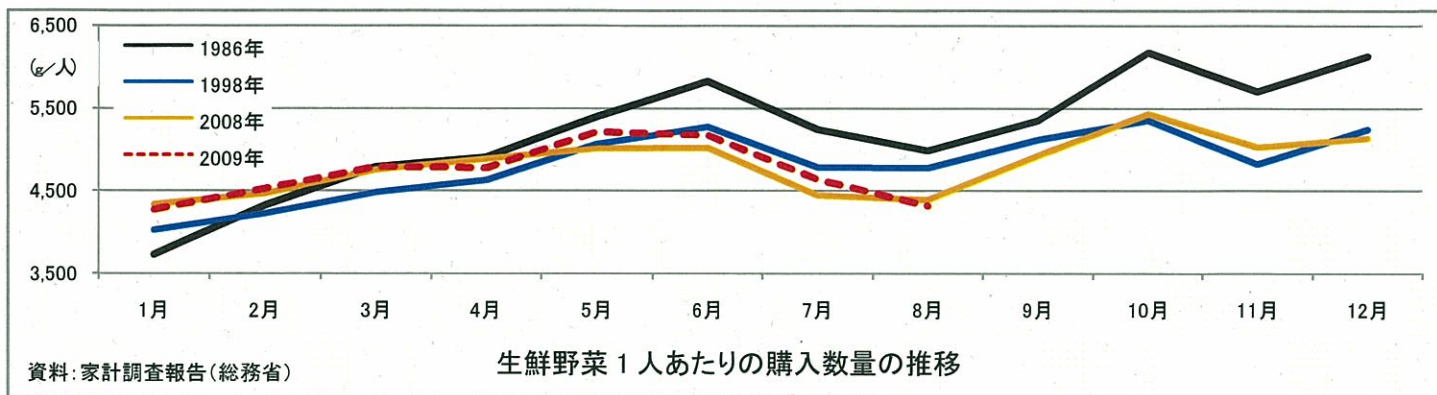


	予報	平年
1週目	13.6mm (57.9%)	23.5mm
	38.9時間 (97.0%)	40.1時間
	18.1°C (+2.1°C)	16.0°C
2週目	14.5mm (61.4%)	23.6mm
	53.1時間 (133.1%)	39.9時間
3週目	15.7°C (+0.6°C)	15.1°C
	26.1mm (120.8%)	21.6mm
	41.6時間 (107.8%)	38.6時間
4週目	15.7°C (+1.6°C)	14.1°C
	16.4mm (83.2%)	19.7mm
	40.3時間 (108.0%)	37.3時間
	13.6°C (+0.9°C)	12.7°C

3. 需要動向

(1) 購入数量の変化(全品目共通)

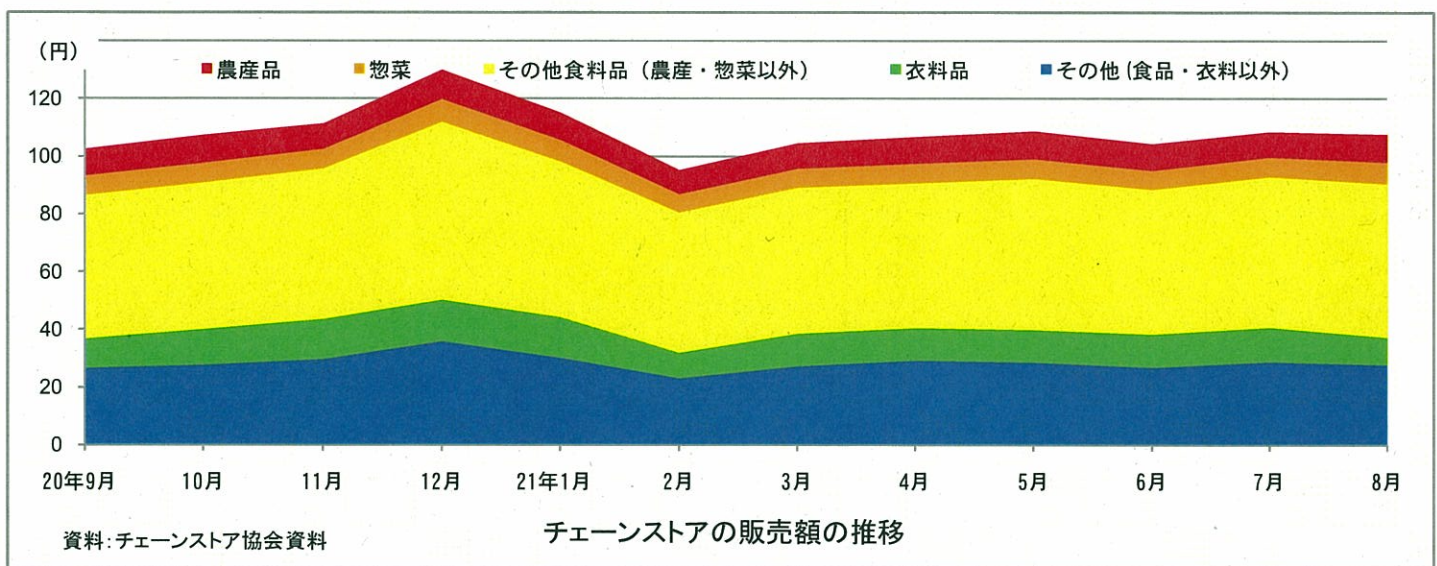
生鮮野菜全体の購入量は近年減少傾向にある。1～5月よりも、7月以降の購入量の減少傾向の方が強い。
 本年の夏前半は安値基調もあり、前年を上回る傾向にあったが、価格高騰がみられた8月から前年を割り込んだ。



(2) チェーンストアの販売動向(全品目共通)

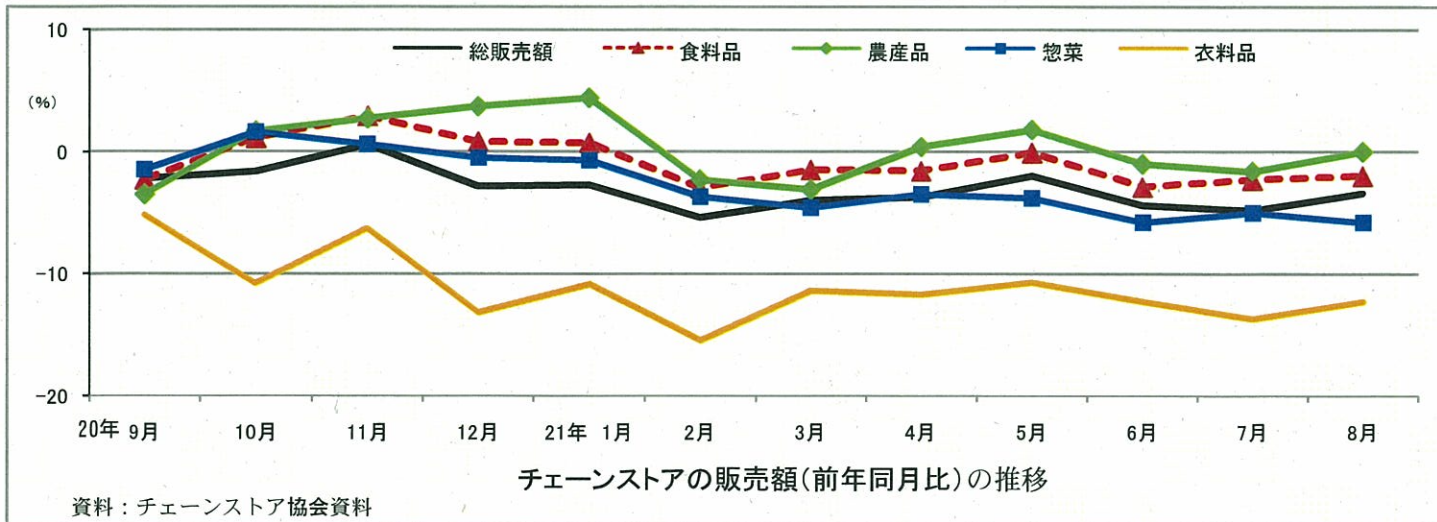
① 販売額の推移

金額は12月に高く、2月に最も低いのが毎年の傾向。食品、とくに青果物は年間を通して変動は比較的少ない。



② 販売額の前年同月比

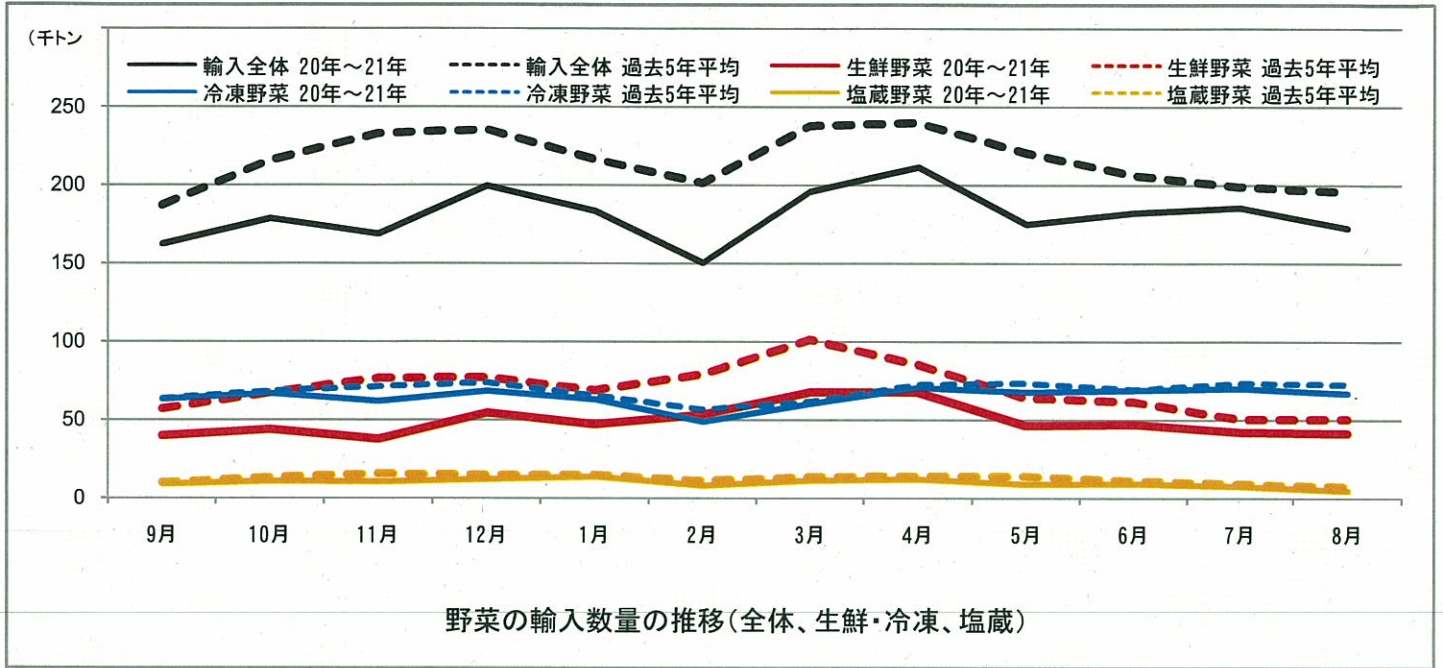
前年9月より、全体には前年を割り込む形で推移している。衣料品の低迷が著しい。農産品は食料品、惣菜にくらべ、高い数値で推移しているものの、金額自体は前年をやや割り込む展開となっている。



(3) 輸入動向(全品目共通)

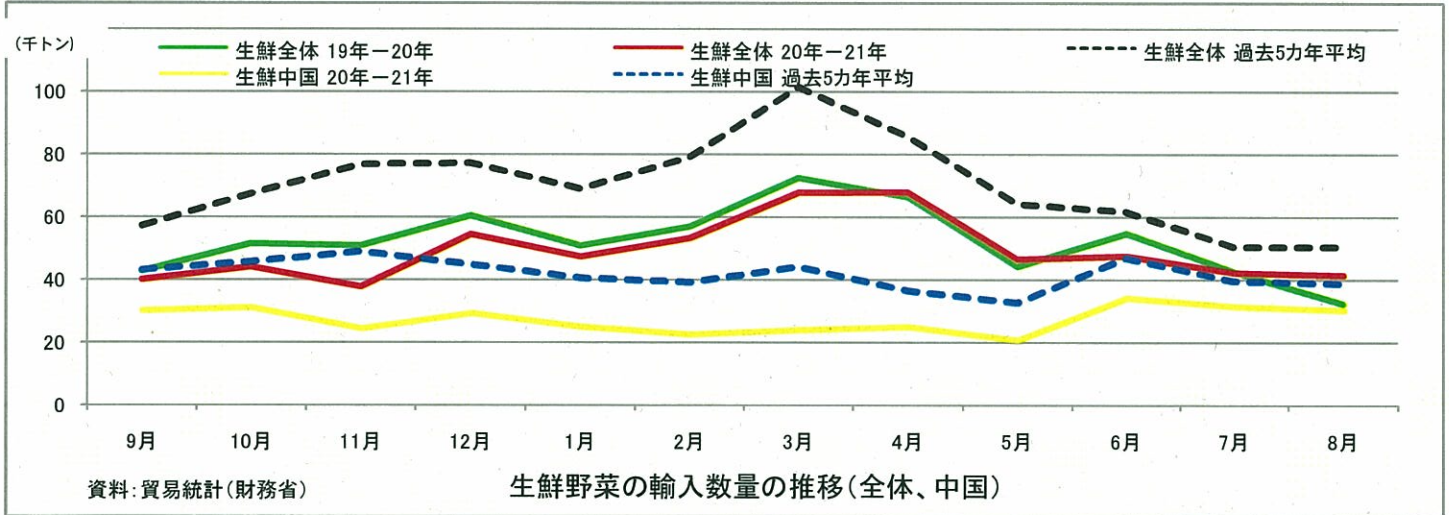
① 野菜全体

野菜の輸入数量は、全体的には過去5年平均を下回る推移となっている。1~8月の対前年比で品目別に増加傾向にあるものは、主なものでは生鮮野菜では「キャベツ」が379%、冷凍野菜では「えだまめ」が107%。



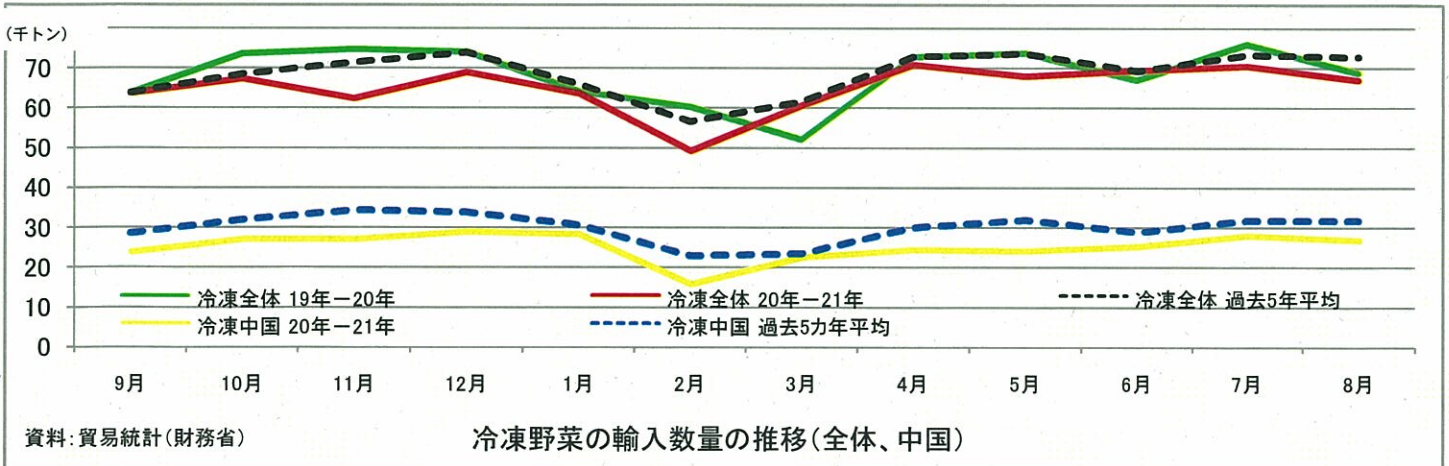
② 生鮮野菜

生鮮野菜全体では、過去5カ年平均を下回って推移している。生鮮野菜輸入量は減少傾向にあったが、本年4月以降、前年値を逆転する月(4月・5月・8月)もあり、反転の兆しがあると見られる。



③ 冷凍野菜

生鮮に比べ、冷凍野菜は安定した推移となっており、本年(前年)の数量が過去5年平均に近い。



④ 輸入実績(主要品目)

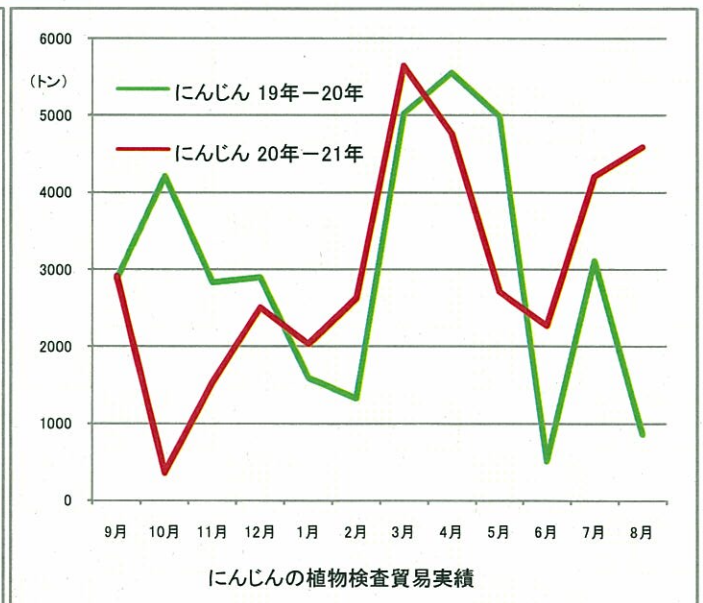
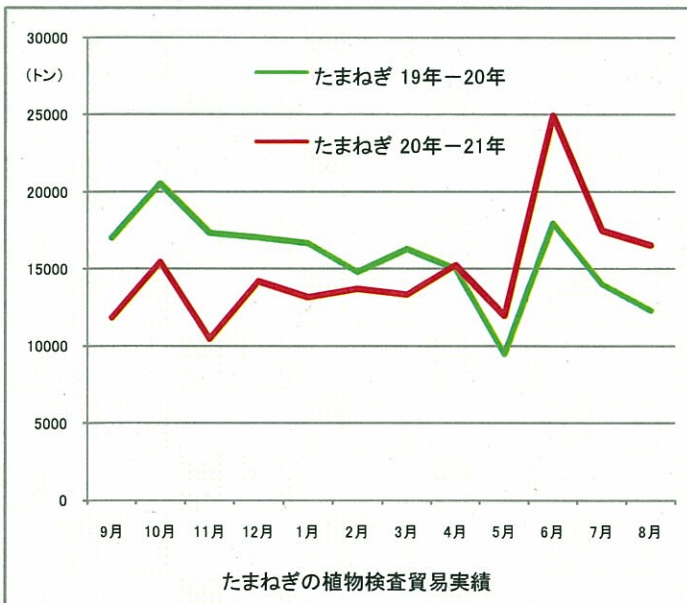
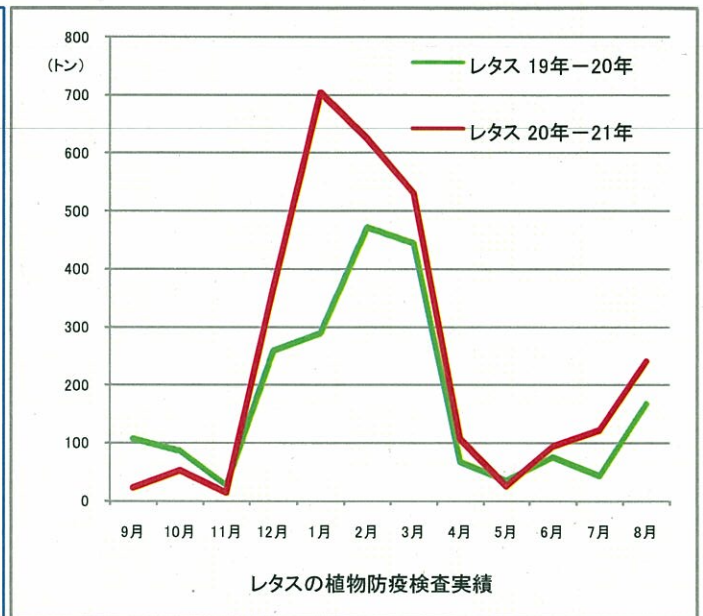
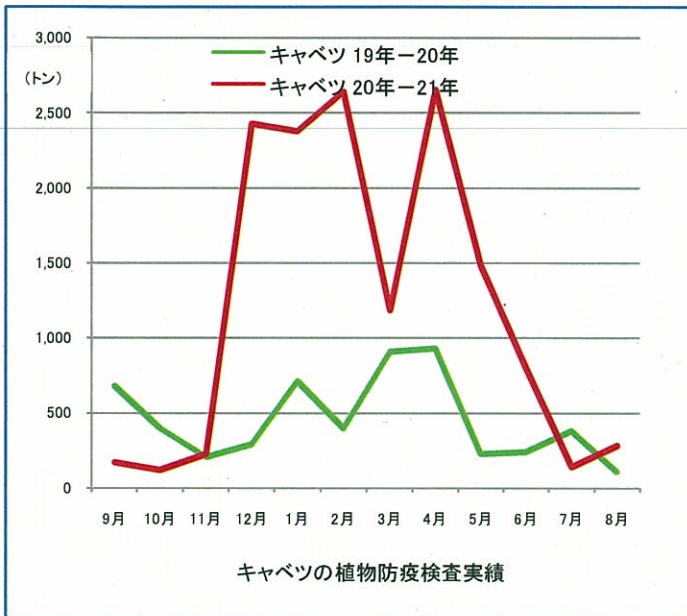
生鮮野菜 (トン)	
①たまねぎ	184,178
②かぼちゃ	100,379
③ごぼう	44,762
④にんじん かぶ	43,004
⑤ねぎ	33,568

冷凍野菜(トン)	
①ばれいしょ	210,5890
②えだまぢ	41,232
③スイートコーン	28,842
④さといも	24,276
⑤いちご	18,251

資料:貿易統計(財務省、平成20年)

⑤ 植物防疫検査実績(主要品目)

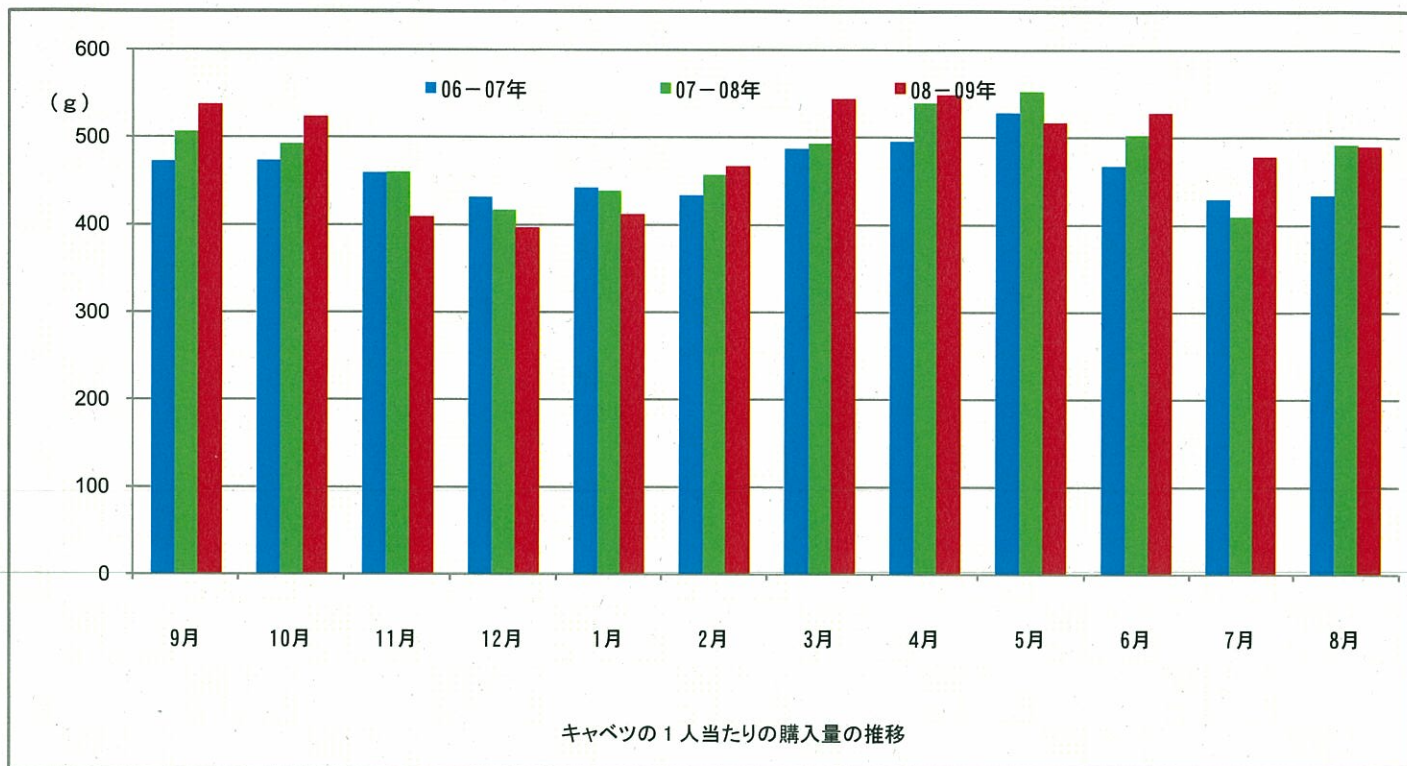
たまねぎ・にんじんでは本年5月以降は前年を上回る数量となっている。8月でみると、たまねぎは前年より約5000トン、にんじんは3000トン多い検査となった。



(4) 家計消費（個別品目）

① 1人あたり購入数量

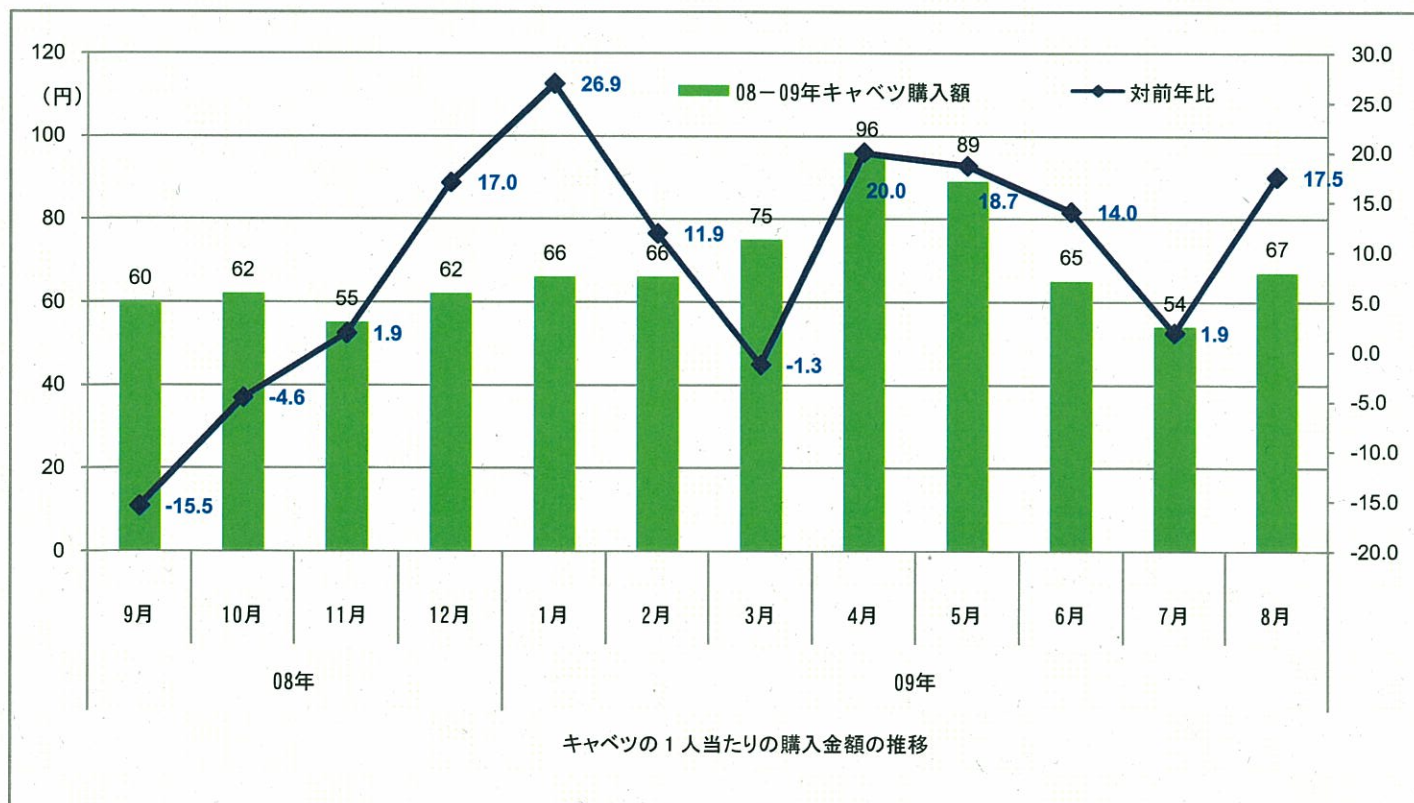
本年は小売価格が顕著に高値となった5月は購入数量は前年を割り込んでいる。8月は品薄となって小売価格は上昇したものの、購入数量は若干前年を下回る程度に留まった。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人あたり購入金額

本年の1月は小売価格の高値を反映して、(購入数量は若干減少したものの)金額は前年を大きく上回った。4月～5月および、8月も1月同様高値により、購入金額が伸張した。価格弾力性が比較的弱く、価格の上昇の割に需要が減少しない傾向がうかがえる。

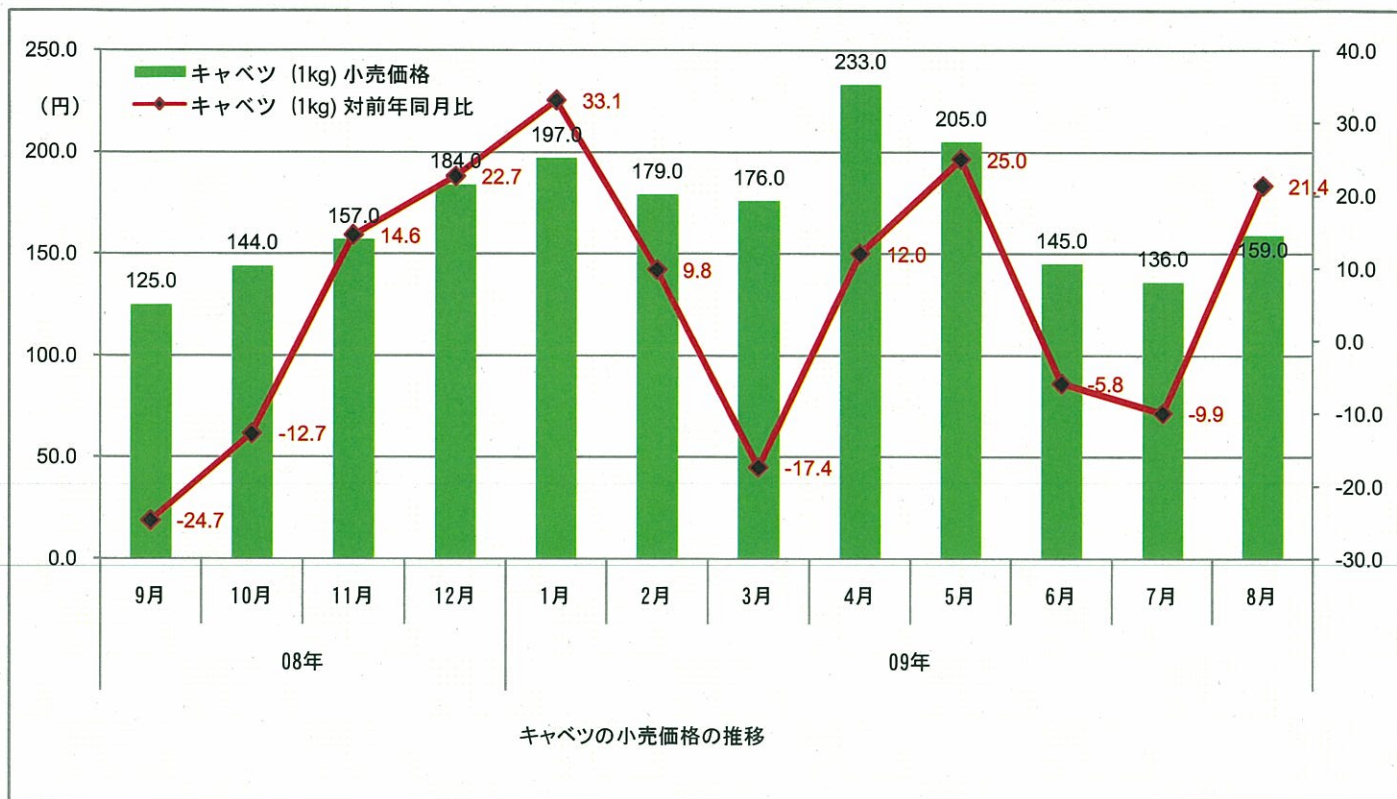


資料：家計調査報告（総務省）

(5) 小売価格 (個別品目)

① 小売価格 (東京都区部)

前年9月～10月のゲリラ豪雨等の影響で12月～1月出荷のものが品薄となり高値となったあと、3月の寒波の影響で5月出荷も減少し高値になった。5月～6月に干ばつ傾向となったため高冷地(群馬・岩手)が潤沢となり7月に価格低落したが、7月後半の曇天・降雨の為、8月は一転して高値となった。



資料：小売物価調査 (総務省)

② 小売価格 (全国)

卸売価格と小売価格の連動性などについて検証するため、平成21年7月から当機構による全国的な小売価格の定点調査を開始した。(参考資料3)

なお、本調査結果は、当機構のホームページの野菜情報サイト「ベジ探」中、「野菜の小売実態調査」として公表されている。

(URL: <http://vegetan.vegenet.jp/>)

○ 冬キャベツ過去における市場隔離等の実施状況

年度	実施時期	実施数量 (t)
S55	11月上旬	9
56	11月中旬～3月下旬	489
57	1月中旬～3月下旬	2,041
58	3月上、中旬	1,518
59	11月上旬～3月下旬	15,482
60	2月中旬～3月上旬	1,026
61	2月上、中旬	11,956
62	12月下旬	1,322
63	11月中旬～3月中旬	3,827
H元		
2	2月上旬	1,309
3	11月上旬～12月上旬	2,359
4	11月下旬～12月中旬	1,331
5		
6		
7		
8		
9	12月中旬	509
10	11月中旬	87
11	12月上旬	440
12		
13	11月下旬～3月下旬	813
14		
15	11月下旬～12月下旬	6,491
16	11月上旬～12月上旬	1,006
17		
18	12月上旬～3月上旬	8,840
19	2月上旬	700
20		

4. 今後の見通し